

定ト思考ス由テ御裁可アラセラルレ度別紙寫相添謹テ上奏ス

(別紙) 夜須郡組合會ニ於テ町村制第六十五條ニヨリ常設委員ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請
明治二十三年五月十九日 福岡縣上座下坐夜須郡長 土方和親
內務大臣伯爵 山縣有朋 殿

條例

第一條 本組合内ニ勸業常設委員一名ヲ設置スルモノトス

第二條 勸業常設委員ハ勸業上ノ改良進歩ヲ謀ルル目的トシ負擔ノ事務概目如左

第一項 組合内ヲ巡視シ實業改良上ニ注目シ其利便ヲ研究スルコト

第二項 實業家ヲ集メ勸業談話會ヲ開クコト

第三項 勸業試驗場其他實地熟練ノ業務ヲ見聞シ組合内ノ實業家ニ指示勸誘スルコト

第四項 勸業研究所ノ常務ヲ負擔スルコト

第五條 勸業常設委員ハ町村公民中選舉權ヲ有スルモノヨリ選任シ任期ヲ二箇年トス但改選ノ際再選

スルモ妨ケナシ

第六條 勸業常設委員ハ報酬及實費辨償金ヲ給與ス

第七條 勸業常設委員ノ理由

夜須郡ハ農業ヲ主トシ兼テ製絲紙漉織物絞等ノ業務ニ從事スルノ地方ニシテ未タ舊慣ヲ墨守シ學術ヲ

精功ニ至ラサルモ少ナカラス故ニ今般町村組合會ノ決議ニヨリ條例ヲ設ケ全郡ニ勸業常設委員一名

ヲ置キ之ヲ改良進歩ヲ計ラントスル理由ニ候也

明治二十三年五月十九日 福岡縣上座下坐夜須郡長 土方和親

指令二十三年六月十六日

福岡縣夜須郡各町村組合條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

福岡縣上奏二十三年六月二十日

福岡縣企救郡小倉町等手數料徵收ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ稟請セリ之ヲ審査スルニ相當ノ規定

ト思考ス由テ御裁可アラセラルレ度別紙寫相添謹テ上奏ス

(別紙) 手數料徵收ニ係ル條例許可稟請

本町會ニ於テ手數料徵收ニ關スル件別紙之通議決候條例第百二十六條ニヨリ許可ヲ請フ

明治二十三年五月十三日 福岡縣企救郡 小倉町長 林 太次郎

內務大臣伯爵 山縣有朋 殿

大藏大臣伯爵 松方正義 殿

條例第 號

手數料徵收條例

一 町稅滯納者ニ對シ督促令狀ヲ發スルノキニ制第百三條ニヨリ金一錢五釐ノ手數料ヲ徵收ス

理由 本町從來實況ヲ同願スルニ諸税金均如滯納者多ク就中町村費少キハ最モ夥多有之其滯納者ニ對シ數

同督促狀ヲ發スルモ視シテ願サズル如シ爲メ事務ノ滯滞ヲ來タスノミナラス經費ノ幾分ヲ增加セ

サレバ整理上差支アル場合有之故ニ將來此輩ヲ減少セシメ自治ノ活氣ヲ失セシムコトヲ恐ルルヲ以テ

本條例ノ規定ヲ要スル所以ナリ

指令二十三年六月二十三日

福岡縣小倉町條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

內務省上奏二十三年十一月二十一日

福岡縣上座郡全村組合ヨリ別紙ノ通設委員ニ關スル條例新設ノ許可ヲ稟請セリ之ヲ審査スルニ相當

ノ規定ト思考ス由テ御裁可アラセラルレ度別紙寫相添謹テ上奏ス

(別紙) 上座郡組合會ニ於テ町村制第六十五條ニ依リ常設委員ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請

ス

明治二十三年六月六日 內務大臣伯爵 山縣有朋 殿

上座下座夜須郡長 土方和親

第一條 本組合内ニ勸業常設委員一名ヲ設置スルモノトス

第二條 勸業常設委員ハ勸業上ノ改良進歩ヲ謀ルル目的トシ負擔ノ事務概目如左

第一項 組合内ヲ巡視シ實業改良上ニ注目シ其利便ヲ研究スル事

第二項 實業家ヲ集メ勸業談話會ヲ開ク事

第三項 勸業試驗場其他實地熟練ノ業務ヲ見聞シ組合内ノ實業家ニ指示勸誘スル事

第四項 勸業研究所ノ常務ヲ負擔スル事

第五條 勸業常設委員ハ町村公民中選舉權ヲ有スルモノヨリ選任シ任期ヲ二箇年トス但改選ノ際再選

スルモ妨ケナシ

第六條 勸業常設委員ハ報酬及實費辨償金ヲ給與ス

第七條 勸業常設委員ノ理由

上座郡ハ農業ヲ主トシ兼テ製絲紙漉製蠶等ノ業務ニ從事スルノ地方ニシテ既ニ改良其緒ニ就キント雖

モ未タ學術ノ精巧ニ至ラサルモ少ナラス故ニ今般町村組合會ノ評決ニ依リ條例ヲ設ケ全郡ニ勸業

常設委員一名ヲ置キ之ヲ改良隆盛ヲ計ラントスル理由トス

指令二十三年十月三十一日

福岡縣上座郡全村組合條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

大分縣北海部郡白杵町條例

條例第九號 使用料條例

第一條 土地使用期限ハ十年以内トス

第二條 土地使用者ハ其町村内ニ於テ二人以上ノ身元保證人ヲ立テ猶ホ使用人ヨリ保證金トシテ地價百分ノ三ヲ出サシム

第三條 土地使用期限ハ毎年七月十二月ノ兩度トス

第四條 前條徵收期限ハ場合ニ依リ町長ニ於テ其年度内ノ延期ヲ與フルコトヲ得

第五條 土地使用者ハ不納者アルトキハ本例第三條身元保證金ヨリ收入シ猶不足アラハ身元保證人ヨリ償セシメ又ハ制第百二條ニ依リ處分ス

第七條 修繕其他事故ニ依リ土地ノ使用ヲ中止スルトキ及非常天災等ニテ其物件期限内ニ於テ用ヲ終ササルノ場合ハ町長ノ見込ヲ以テ其日數ニ應シ使用料ヲ減スヘシ

第八條 土地使用者其權ヲ他人ニ讓ラントスルトキハ町長ニ申出テ許可ヲ受クヘキ者トス

第九條 土地使用者其權ヲ他人ニ讓ラントスルトキハ町長ニ申出テ許可ヲ受クヘキ者トス

理由 土地使用者ハ基本財産ヲ運用スル緊用ノ事件本町經濟ノ基本ナルヲ以テ嚴重ノ處置法ヲ設クル所以ナリ

指令 二十二年十月九日

大分縣北海部郡白杵町條例設定ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

法制局議案二十二年十月七日

內務大臣上奏大分縣北海部郡白杵町條例設置ノ件ハ相當ノ規定ニシテ法律ニ抵触ノ虞無之ニ付上奏ノ通裁可セラレ可然ト認ム

內務大臣上奏二十二年十月八日

別紙大分縣下毛郡中津町ニ於テ徵收督促條例ヲ設ク許可ヲ稟請スルニ及ヘリ依テ審査スルニ適當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲有度別紙町會議決書寫相添謹テ上奏ス

本町會ニ於テ徵收督促ニ關スル條例ノ件別紙ノ通裁決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年九月七日

內務大臣 伯耆 松方 正義 殿

大分縣下毛郡中津町長 富永 衛 二

大分縣下毛郡中津町條例

第一條 徵收督促條例

第二條 町村制第百二條ニ依リ本町収入金ヲ定期内ニ納メス爲ニ町長ノ督促ヲ要スルモノアルトキハ

町長ハ左ノ四定ニ依リ手数料ヲ徵收スルモノトス

一 納期後二十日以内ニ一回督促シ其督促後五日ヲ過キ尙ホ納メザルトキハ再督促ヲナスモノトス

二 一回督促ヲ受ケタルモノハ左ノ手数料ヲ納ムヘシ

一 一回督促ヲ受ケタルモノハ左ノ手数料ヲ納ムヘシ

一 再督促ヲ受ケタルモノハ左ノ手数料ヲ納ムヘシ

一 再督促ヲ受ケタルモノハ左ノ手数料ヲ納ムヘシ

理由 手数料ハ其督促ヲ爲ストキ町長ノ分狀ヲ附スルモノトス

本例ヲ設クルニ徵收期限ヲ意リ爲ニ理務上完結シ能ハサルモノアルニ由ル

指令 二十二年十月十一日

大分縣中津町條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

內務大臣上奏二十二年十一月九日

大分縣北海部郡白杵町ニ於テ區區ヲ分チ區長ヲ置ク件條例ヲ設ケ別紙ノ通其許可ヲ稟請セリ依テ審査スルニ該町ハ人口一萬五千九百九十五戸數二千二百五十二區域稍廣闊隨テ事務モ亦繁劇ナルニ依リ區ヲ分チ區長ヲ置キ町長ノ事務ヲ補助執行セシムルハ至極便宜ナルヘク尤モ該件ハ町會ノ決議ヲ以テ直ニ施行シ得ル事項ニハ候得共之ヲ條例トシテ規定シ置クモ素ヨリ妨ク無キ儀ニ有之候ニ付御裁可被爲在度別紙町會議決書相添謹テ上奏ス

(別紙)

本町會ニ於テ區長ニ關スル條例ノ件別紙之通裁決候ニ付許可ヲ請フ

大分縣北海部郡白杵町

元戶長 宇野 治 光

明治二十二年五月十四日

內務大臣 伯耆 松方 正義 殿

大分縣北海部郡白杵町條例

條例第六號 區長條例

第一條 全町ヲ區劃シテ左ノ六區トシ每區ニ區長一名ヲ置ク

東白杵區

西白杵區

海添區

二王座區

福良區

平清水區

第二條 區長ノ任期ハ三年トシ滿期前改選スルモノトス

區町條例理由

佐賀

本町ハ元來一町三村ニシテ其下數伍ニ分レ各伍伍長アリテ諸務ヲ便利シ來リシノ後ナルヲ以テ此制ヲ立テ事務ヲ補助セシメサレハ施政ノ機關ヲシテ圓滑ナラシムル能ハナルニ依ル

指合ニ十二年十一月十二日
大分縣白井町條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ
內務省上奏ニ十二年八月九日
佐賀縣佐賀市ニ於テ市長代理及責任ニ關スル條例ノ件別紙ノ通許可ヲ稟請セリ右審査スルニ別ニ支障ノ廉アルヲ見ス依テ御裁可アラセラレ度謹テ上奏ス

本年六月十二日市庶乾第一號ヲ以テ本市條例第一號市長代理及責任ノ件稟請仕置候處別紙ノ通本市會ニ於テ更正議決候ニ付更ニ差出候條前ノ稟請書ハ御下度此段上申仕候也
佐賀縣佐賀市參事會
市長石丸源作

明治二十二年七月二十日
內務大臣伯爵 松方正義 殿

佐賀市條例第一號
市長代理及責任

第一條 市長不在ノ時ハ助役其事務ヲ代理ス市長助役共不在ノ時ハ名譽職參事會員中ノ上席者ヨリ順次其代理ヲナス

第二條 但參事會員ノ席次ハ豫テ互撰ヲ以テ定メ置ク可シ
指合ニ十二年八月十三日
佐賀縣佐賀市條例ヲ設ケルノ件裁可セラレタリ

內務省上奏ニ十二年九月十六日
佐賀縣佐賀市ニ於テ區會ニ關スル市條例ノ件別紙ノ通許可ヲ稟請セリ右審査スルニ支障ノ廉アルヲ見ス依テ御裁可アラセラレ度謹テ上奏ス

佐賀縣ヨリ內務省ヘ稟請ニ十二年八月三十日
縣下佐賀市區會ニ關スル條例市制第百十三條ニ依リ市會ノ意見ヲ開キ別紙ノ通發行仕度尤モ市會ノ意見ハ別紙ノ通一町毎ニ一名ヲ選舉スルノ數字ヲ添加スルノ意見ニ有之候得トモ選舉區ヲ設ケスシテ每一町ヨリ一名ヲ選舉スルハ實際行ハレ難ク又法律ノ許ササル儀ト存候ニ付小官知事石井邦猷意見ノ通御許可相成度此段上申仕候也

佐賀市條例第三號
區會條例

第一條 本市ニ區ヲ置キ區會ヲ設置ス

第二條 區會ニ於テ議決スヘキ事件左ノ如シ
一 本區ニ於テ所有スル財産及營造物ニ關スル件

- 第三條 區會費ニ關スル件
- 第四條 區ノ區域左ノ如シ
- 第五條 區會議員ノ數ハ二十七名トス
- 第六條 區會議員ノ職權ハ市制ニ依ル
- 第七條 區會議員ノ任期ハ二年トス
- 第八條 區會議員ノ選任ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第九條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第十條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第十一條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第十二條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第十三條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第十四條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第十五條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第十六條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第十七條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第十八條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第十九條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第二十條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第二十一條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第二十二條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第二十三條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第二十四條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第二十五條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第二十六條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第二十七條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第二十八條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第二十九條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第三十條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第三十一條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第三十二條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第三十三條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第三十四條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第三十五條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第三十六條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第三十七條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第三十八條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第三十九條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第四十條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第四十一條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第四十二條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第四十三條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第四十四條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第四十五條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第四十六條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第四十七條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第四十八條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第四十九條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第五十條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第五十一條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第五十二條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第五十三條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第五十四條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第五十五條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第五十六條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第五十七條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第五十八條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第五十九條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第六十條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第六十一條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第六十二條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第六十三條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第六十四條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第六十五條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第六十六條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第六十七條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第六十八條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第六十九條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第七十條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第七十一條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第七十二條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第七十三條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第七十四條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第七十五條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第七十六條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第七十七條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第七十八條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第七十九條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第八十條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第八十一條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第八十二條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第八十三條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第八十四條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第八十五條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第八十六條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第八十七條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第八十八條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第八十九條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第九十條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第九十一條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第九十二條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第九十三條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第九十四條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第九十五條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第九十六條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第九十七條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第九十八條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第九十九條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
- 第一百條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル

第三條 區會議員ノ數ハ二十七名トス
第四條 區會議員ノ職權ハ市制ニ依ル
第五條 區會議員ノ任期ハ二年トス
第六條 區會議員ノ選任ハ市會ノ決議ニ依ル
第七條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
第八條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
第九條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
第十條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
第十一條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
第十二條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
第十三條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
第十四條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
第十五條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
第十六條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
第十七條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
第十八條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
第十九條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
第二十條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
第二十一條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
第二十二條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
第二十三條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
第二十四條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
第二十五條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
第二十六條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
第二十七條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
第二十八條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
第二十九條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
第三十條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
第三十一條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
第三十二條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
第三十三條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
第三十四條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
第三十五條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
第三十六條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
第三十七條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
第三十八條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
第三十九條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
第四十條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
第四十一條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
第四十二條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
第四十三條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
第四十四條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
第四十五條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
第四十六條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
第四十七條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
第四十八條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
第四十九條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
第五十條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
第五十一條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
第五十二條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
第五十三條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
第五十四條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
第五十五條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
第五十六條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
第五十七條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
第五十八條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
第五十九條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
第六十條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
第六十一條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
第六十二條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
第六十三條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
第六十四條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
第六十五條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
第六十六條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
第六十七條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
第六十八條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
第六十九條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
第七十條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
第七十一條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
第七十二條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
第七十三條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
第七十四條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
第七十五條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
第七十六條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
第七十七條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
第七十八條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
第七十九條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
第八十條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
第八十一條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
第八十二條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
第八十三條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
第八十四條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
第八十五條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
第八十六條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
第八十七條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
第八十八條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
第八十九條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
第九十條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
第九十一條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
第九十二條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
第九十三條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
第九十四條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
第九十五條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
第九十六條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル
第九十七條 區會議員ノ職務ニ關スル事項ハ市會ノ決議ニ依ル
第九十八條 區會議員ノ報酬ハ市會ノ決議ニ依ル
第九十九條 區會議員ノ罷免ハ市會ノ決議ニ依ル
第一百條 區會議員ノ補選ハ市會ノ決議ニ依ル

明治二十二年八月二十四日
佐賀縣知事 石井邦猷 殿
一 條例案第四條區會議員ノ數ハ二十七名トス下アルスノ一字ヲ削リシ一町毎ニ一名ヲ選舉スノ十一字ヲ加フ
一 其他ハ都テ條例案ノ通
指合ニ十二年九月十八日
佐賀縣佐賀市條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ
內務省上奏ニ十二年八月五日
別紙熊本縣北郡水俣村ニ於テ吏員慰勞及療養手當ニ關スル條例ノ許可ヲ稟請スルニ及ヘリ依テ審査スルニ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可アラセラレ度別紙村會決議書寫相添謹テ上奏ス
(別紙)
本村會ニ於テ村吏員慰勞及療養手當ニ關スル條例ノ件ハ別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ
熊本縣北郡水俣村長 深 寬

明治二十二年七月九日
內務大臣伯爵 松方正義 殿
條例第三號

村吏員慰勞及療養手當ノ件
 第一條 村吏員忠直廉潔ニシテ滿二箇年以上執務ノ功績特ニ著シキ者ハ職務勉勵勞トシテ金一圓以上十圓以下ヲ給與スルコトアルヘシ
 第二條 村吏員公務ノ爲メ疾病又ハ身體不具トナリ或ハ夫レカ爲メ職務ニ堪ヘスシテ辭スルカ若クハ死ニ至リタルモノハ療養手當又ハ吊祭料トシテ左ノ範圍内ニ於テ金員給與スル事アルヘシ
 疾病ニ罹リタル者金三圓以上三十圓未滿身體不具トナリタル者金五圓以上五十圓未滿死ニ至リタル者金二十圓以上百圓未滿
 第三條 前二箇條ニ關スル執行ハ村長ノ申立ニ據リ村會之ヲ決ス村長ニシテ本條ニ當ル時ハ村會議員三名以上ノ申立ニヨリ村會之ヲ決ス
 第四條 右金額ハ臨時費徵收スルモノトス
 指令二十二年八月十五日
 熊本縣北郡水俣村條例ハ上奏ノ通裁可セラレタリ
 法制局議案二十二年八月十三日
 別紙內務大臣上奏熊本縣北郡水俣村ニ於テ吏員慰勞及療養手當ニ關スル條例ノ件ヲ審査スルニ穩當ノ法案ニシテ且ツ法律ニ抵觸ノ虞モ無之ニ付上奏ノ通裁可セラレ可然ト認ム
 內務省上奏二十二年九月二十八日
 熊本縣北郡水俣村ニ於テ區會ヲ設ケル條例ノ件別紙之通許可ヲ稟請スルニ及ヘリ依テ之ヲ審査スルニ町村制第十四條ニ據ルモノニシテ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可在セラレ度別紙相添謹テ上奏ス
 熊本縣北郡水俣村區會ニ關スル條例ノ件該村會ノ意見ヲ聞キ別紙ノ通發行致度ニ付許可ヲ請フ
 明治二十二年七月九日
 內務大臣 伯爵 松 方正 義 殿
 熊本縣 八代 北郡 長 松 崎 欣 哉

條例第一號
 熊本縣北郡水俣村區會條例
 第一條 本村ノ區ハ制第十四條ニ依リ區會ヲ設ケ
 第二條 區會議員ハ町村會議員選舉法ニ依リ其區ニ於テ選舉ス其定員ハ其區ノ戶數ニ準シ左ノ割合ヲ以テ之ヲ定ム
 一 戶數百戶未滿ノ區ニ於テハ 議員 八人
 一 戶數百戶以上二百戶未滿ノ區ニ於テハ 議員 十二人
 一 戶數二百戶以上ノ區ニ於テハ 議員 十六人
 第三條 區會議員ハ名譽職トス其任期ハ町村會議員ノ例ニヨル
 第四條 區會議員ハ町村會ノ例ヲ適用ス
 第五條 區會ノ議決ス可キ事件ノ概目左ノ如シ
 一 區ノ共有財產及營造物管理方法ヲ定ムル事
 二 區ノ共有財產及營造物ニ關スル歲入出豫算ヲ定メ且豫算外ノ支出及豫算超過ノ支出ヲ認定スル事

三 決算報告ヲ認定スル事

四區ノ共有財產及營造物ニ關スル使用料手数料及夫役現品ノ賦課徵收方法ヲ定ムル事
 理由
 本村ハ舊十九箇村ヲ合併セシ村落ニシテ土地廣潤舊村自然ノ區域アリ各々特別ニ財產ヲ有ス依テ之ニ關スル事務ノ爲メ必要ナルヲ以テ制第十四條ニヨリ區會ヲ設ケルモノナリ
 指令二十二年十月二日
 熊本縣北郡水俣村條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ
 內務省上奏二十二年十二月二十四日
 熊本縣北郡水俣村ニ於テ諸收入金徵收督促手数料ニ關スル條例ヲ議決シ別紙ノ通許可ヲ稟請スルニ及ヘリ依テ之ヲ審査スルニ町村制第十四條ニ依ルモノニシテ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可在度村會決議書寫相添謹テ上奏ス
 (別紙)
 本村會ニ於テ滯納督促手数料ニ關スル條例ノ件別紙ノ通裁決候ニ付許可ヲ請フ
 明治二十二年八月二十八日
 內務大臣 伯爵 松 方正 義 殿
 大藏大臣 伯爵 松 方正 義 殿
 熊本縣 北郡 水俣村 長 深 水 賴 寬

條例第二號
 滯納督促手数料ノ件
 第一條 本村ニ於テ徵收スル村稅及使用料夫役ニ換ル金圓加入金等定期内ニ納メサル者アルトキハ五日以内ニ督促狀ヲ發シ手数料トシテ本金額百分ノ五ヲ徵收ス可シ而シテ尙前定期日ヨリ算シ三十日間ニ完納セサルトキハ國稅納滯規則ニ據リ處分スヘシ
 但本狀五日以内ノ督促狀發布セサル内ニ完納シタルトキハ手数料ハ徵收セス
 理由
 此條例ヲ設ケル所以ノ者ハ山間僻地ノ民俗從來町村費ノ徵收ヲ輕蔑シ再三督促スルモ依然等閑視スルノ宿弊有之故ニ漸次此舊慣ヲ改良シ無益ノ手數空費ヲ省除セント欲スレハナリ
 指令二十二年十二月二十六日
 熊本縣北郡水俣村條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ
 內務省上奏二十三年六月二十日
 熊本縣北郡水俣村ニ於テ選舉區域外四件ニ關スル條例ヲ議決シ別紙ノ通許可ヲ稟請スルニ及ヘリ依テ之ヲ審査スルニ何レモ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可在度議決書寫相添謹テ上奏ス
 (別紙)
 本市會ニ於テ選舉區域ニ關スル條例ノ件別紙ノ通裁決候ニ付許可ヲ請フ
 熊本縣 本市 參事會

市長故障アリテ出務スル能ハサルトキハ市參事會員中之レカ代理ヲ爲スヤ必然ノコトナレハ豫メ其代理ノ順序ヲ規定スルハ制第六十九條ノ正則トス依テ茲ニ本條例ヲ設ケタル所以ナリ
本市會ニ於テ市吏員給料支給ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ
熊本縣熊本市參事會
熊本縣熊本市長 杉 村 大 八

明治二十二年十一月六日

內務大臣伯爵 山 縣 有 朋
熊本縣熊本市參事會
熊本縣熊本市長 杉 村 大 八

第一條 本市ハ制第七十六條未項ニ依リ市長以下有給吏員ノ給料額ヲ定ムルコト左ノ如シ

一 市長給料ハ年俸金五百圓以上一千圓以下トス
但シ月割ヲ以テ之ヲ給ス

二 助役及收入役給料ハ年俸金二百圓以上五百圓以下トス
但シ書同上

三 市書記給料ハ月俸金七圓以上二十圓以下トス
但シ就職并退職ノ月ハ日割ヲ以テ之ヲ給ス

四 附屬員給料ハ月俸金二圓五十錢以上七圓以下トス
但シ書同上

第二條 給料ハ毎月二十六日支給スルモノトス
但休日ニ當ルトキハ繰上トス

本市會ニ於テ市吏員旅費支給ニ關スル條例件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年十一月六日

內務大臣伯爵 山 縣 有 朋
熊本縣熊本市參事會
熊本縣熊本市長 杉 村 大 八

第一條 本市ハ市吏員旅費支給條例

第二條 汽車賃ハ汽車旅行汽船賃ハ汽船旅行車馬賃ハ陸路旅行日當ハ宿泊料及其他諸費用ニ充ツル爲メ之ヲ支給ス

第三條 日當ハ陸路六里未滿汽車十哩未滿汽船十里未滿ノ旅行ニハ支給セサルモノトス
但公務ノ都合ニ依リ宿泊ヲ要スルトキハ其泊數ニ應シテ日當ヲ支給ス

第四條 汽車賃汽船賃車馬賃ハ其種類毎ニ現ニ經過セシ路程ノ總數ヲ合算シテ之ヲ支給ス
但シ其一位未滿ノ端數ハ算入セサルモノトス

別表

旅 費 額

役 名	汽車賃	汽船賃	縣車馬賃	外車馬賃	縣日當	外日當
市長	一哩 每	一海里 每	一里 每	一里 每	一日 每	一日 每
市參事會員	六 錢	六 錢	八 錢	十四 錢	一 圓	一圓四十 錢
市助役收入役及書記	六 錢	六 錢	八 錢	十四 錢	七 十 錢	九 十 錢
附屬吏員	三 錢	三 錢	六 錢	八 錢	五 十 錢	七 十 錢
附屬吏員	三 錢	三 錢	六 錢	八 錢	三 十 錢	五 十 錢

理由

市吏員ニシテ公務上旅行ヲ要スルコトナキニアラス然ルニ其旅費額ノ定規ナキ時ハ實際上差支ヲ生スルハ必然ナルヲ以テ開令第十四號內國旅費規則并大藏省訓令第二十三號ヲ標準トシテ此條例ヲ設ケタ
本市會ニ於テ退隱料支給ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ
熊本縣熊本市參事會
熊本縣熊本市長 杉 村 大 八

明治二十二年十一月六日

內務大臣伯爵 山 縣 有 朋
熊本縣熊本市參事會
熊本縣熊本市長 杉 村 大 八

第一條 本市ハ制第七十七條ニ依リ市長及其他有給吏員ニハ左ノ區別ニ從ヒ五年間退隱料ヲ參與スルモノトス

一 市長及助役收入役ハ在職十二年間勤績シ退職シタルトキハ俸給四分ノ一
但勤績六年ヲ加フル毎ニ俸給十分ノ一ヲ増スモノトス

二 書記及附屬吏員十二年以上勤績シ退職シタル者ニハ俸給年額四分ノ一
但勤績六年ヲ加フル毎ニ俸給十分ノ一ヲ増スモノトス

三 市長助役收入役及其他ノ吏員ハ在職十二年ニ至ラスト雖モ職務ノ爲メ不治ノ疾病ニ罹リ職務ニ堪ヘズ退職セシモノニハ尙ホ第一二項ヲ適用シ退隱料ヲ給ス
在職十二年以上ニシテ本項ニ該當スル者ハ其退隱料十分ノ一ヲ増給ス

第二條 在職六年以上ニシテ前條退隱料ヲ受クルニ至ラサルモノニハ一時左ノ區別ニ從ヒ之ヲ給與スルモノトス

一 市長助役收入役ハ其退職前ノ年俸四分ノ一ヨリ少カラス二分ノ一ヨリ多カラス

二 書記附屬員給料月額ノ一箇月ヨリ少カラス三箇月ヨリ多カラス
三 市吏員(市長助役收入役ヲ除ク)在職十二年ニ超ル者ト雖モ年俸未タ六十歳ニ至ラズシテ自己ノ便宜ニ

依リ退職ヲシタルモノ又ハ懲戒處分若クハ犯罪ノ爲メニ職ヲ免セラレタル者ニハ退職料ヲ支給セス
 第四條 退職料ヲ受ケルモノニシテ左ノ各項ニ觸ルトキハ其給與ヲ廢止スルモノトス
 一 進退ニ關スヘキ在職中ノ重過失發覺シタルトキ
 二 法律ニ定メタル重罪輕罪ノ刑ニ處セラレタルモノニハ此例ヲ用ヒス
 第五條 第一條一金額ハ毎年六月十二月ニ於テ其半年分(半年分ニ滿テサレバ)交付ス第二條ノ金額ハ退
 職ノ時全額ヲ給ス
 第六條 在職年數ノ計算ハ明治二十二年五月ヨリ起算シ其以後就職ノ者ハ其拜命ノ月ヨリ起算スルモ
 ノトス
 指令二十三年六月二十三日
 熊本縣熊本市條例ノ件上奏ノ通裁可セラレ
 內務省上奏二十二年五月二十日
 鹿兒嶋縣給黎郡知覽村ニ於テハ村長并助役ヲ有給トシ之ニ關スル條例ヲ稟請セリ仍テ審査スルニ該村
 ハ區域廣潤ニシテ部落各所ニ散在シ人口一萬四千有餘ニ達スレハ其村務ニ繁多ナル知ルヘクシテ有給
 ノ村長助役ヲ置キ專ラ一身ヲ職務ニ委シムルモ亦己ムヲ得サル儀ニテ相當ノ規定ト被存候條被爲有
 御裁可度別紙村會決議書相添謹而上奏ス
 本村會ニ於テ村長及助役ニ關スル條例ノ件別紙ノ通裁決候ニ付許可ヲ請フ
 鹿兒嶋縣掛宿郡今和
 泉村舊本村外四村
 元戶長 詫 摩 治 亮

明治二十二年五月十一日
 內務大臣伯爵 松 方 正 義 殿

條例第一號
 本村ハ制第五十六條ニ依リ村長及助役ヲ有給吏員トス
 理由書
 村長及助役ハ名譽職ノ原則ナルモ本村ノ如キハ名譽職ニテハ適當ノ人ヲ得カタキノ患アリ果シテ然ル
 トキハ爲メニ村民ノ不幸ヲ來スカ如キ虞ナキヲ保シ難シ故ニ有給職トナシ其人ヲ得ント欲スルニアリ
 指令二十二年六月三日
 鹿兒嶋縣給黎郡知覽村條例ヲ設ケルノ件裁可セラレ
 內務省上奏二十二年六月四日
 鹿兒嶋縣川邊郡西加世田村ニ於テ村長及助役ヲ有給トセント欲シ之ニ關スル條例別紙之通許可ヲ稟請
 セリ仍テ審査スルニ該村ハ區域廣潤ニシテ人口一萬三千有餘ニ達スレハ其村務ニ繁多ナル知ルヘクシ
 テ有給ノ村長助役ヲ置キ專ラ職務ニ從事セシムルノ必要アリ殊ニ村内ニ名譽職適任ノ者ナキヲ以テ廣
 シ適當ノ人物ヲ需ムルノ已ムヲ得ザルモノモアリテ相當ノ規定ト被存候條被爲有御裁可度右謹而上奏
 ス

明治二十二年五月十五日
 內務大臣伯爵 松 方 正 義 殿

本村會ニ於テ村長及助役ニ關スル條例ノ件別紙ノ通裁決候ニ付許可ヲ請フ
 鹿兒嶋縣川邊郡西加世
 田村舊片浦村外二村
 元戶長 大山 綱

條例第一號
 制第五十六條ニ依リ本村ノ村長及助役一名ヲ有給吏員トス
 理由書
 本村ハ區域廣潤ニシテ平常取扱ノ事務繁劇殊ニ村内名譽職ニ適任ノモノ乏シキニ依リ廣ク適當ノ人物
 ヲ求メ選舉セザルヲ得ス故ニ制第五十六條ニ基キ村長及助役一名ヲ置キ有給吏員トスル所以ナリ
 指令二十二年六月七日
 鹿兒嶋縣川邊郡西加世田村條例ヲ設ケルノ件裁可セラレ
 內務省上奏二十二年六月五日
 鹿兒嶋縣山郡谷山村ニ於テ村長及助役ヲ有給トセントシ之ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ稟請セリ依
 テ審査スルニ該村ハ區域廣潤ニシテ人口二萬有餘ニ達スレハ其村務ニ繁多ナル知ルヘクシテ有給
 ノ村長助役ヲ置キ專ラ職務ニ從事セシムルノ必要アリ殊ニ村内ニ名譽職適任ノ者ナキヲ以テ廣
 其人ヲ得カタキノ事情モアルヲ以テ相當ノ規定ト被存候條御裁可アラセラレ度謹テ上奏ス
 谷山村會ニ於テ村長及助役ニ關スル條例ノ件別紙ノ通裁決候ニ付許可ヲ請フ
 鹿兒嶋縣山郡元上
 福元村外八町村戶長
 伊 地 知 季 治

明治二十二年五月六日
 內務大臣伯爵 松 方 正 義 殿

條例第一號
 鹿兒嶋縣山郡谷山村有給村長及助役條例
 第一條 制第五十六條ニ據リ本村長ヲ有給吏員トス
 第二條 本村ハ制第五十二條但書ニ據リ助役ノ定員ヲ二名トス
 第三條 制第五十六條ニ據リ本村ノ助役一名ヲ有給吏員トス
 第四條 助役ノ席次ハ名譽職助役ヲ以テ上席トス
 條例第一號
 有給村長及助役條例理由
 當谷山村ノ區域廣潤ニシテ人口二萬四千有餘ノ多キアリ從テ事務繁劇ニシテ之レカ村長タル
 モノ一身ヲ舉テ之レニ從事スルニ非スハ到底之レカ諸般ノ事務ヲ處理スル能ハサルノミナラス名譽
 職トシテハ其人ヲ得ルニ苦ムカ如キ事情アリ故ニ之ヲ有給職トシテ而シテ助役ノ如キ亦一名ノ名譽職吏
 員ノミニテハ實際事務ノ敏滑ヲ望ム可ラサレハ之レカ定員ヲ二名トシ中一名ヲ有給職トシ專ラ其職ヲ

第四條 懲戒處分ニ依テ解職セラレ又ハ犯罪ノ爲メ職務ヲ剝奪セラレタル者ニハ退隱料ヲ給セザルモノトス

第五條 在職中ノ過失退隱後ニ發覺シ若シ在職中ナレハ其過失進退ニ關スト認ムル場合ハ其發覺ノ日ヨリ退隱料ノ給與ヲ廢止スルモノトス

理由
本條ノ旨趣ハ吏員ヲシテ各其名義ヲ重シ持据罷免事ニ從ハシメ平素箴規スル處アリテ苟シクモ緩怠ノ念慮ヲ生セサルヲ以テ最トスルニ由ル所謂優待督勵ノ精神ヲ以テ此條ヲ設定スル所以ナリ其支給年限等ノ區別ハ乃チ本條ニ掲クルカ如シ

本村會ニ於テ諸收入金督促手數料徵收條例別紙之通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年七月十七日

內務大臣伯爵 松方 正 義 殿
鹿兒島縣阿多郡伊作村長 宇 都 爲 榮

鹿兒島阿多郡伊作村條例
條例第二號 諸收入金督促手數料徵收條例
第一條 第二百二條ニ依リ諸收入金ヲ定期内ニ納メス爲メニ村長ノ督促ヲ要スルモノアルトキハ村長ハ左ノ規定ニヨリ手數料ヲ徵收スルモノトス

一 一回督促ヲ受ケタルモノハ前項手數料ノ外更ニ金一錢

二 再督促ヲ受ケタルモノハ前項手數料ノ外更ニ金一錢

理由
本條ニ最モ至難中ノ一ニシテ甚タ容易ニアラズ豫テ蒙昧懈怠ノモノヲシテ意思ヲ興起セシムルハ他ニ爲スヘキ方法ナキカ如シ而シテ如斯ナルモノアルハ大ニ吏員事務ノ障害ヲ來タシ爲メニ費額ヲ要スル少シニアラズ故ニ止ムヲ得ス督促一回毎更ニ手數料ヲ徵收スル處ナリ

指令二十二年十月三十日

鹿兒島縣日置郡東市來村同縣阿多郡伊作村條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

內務省上奏二十二年十一月十三日

鹿兒島縣山郡谷山村ニ於テ督促手數料ノ件ヲ議決シ之ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ稟請セリ依テ審査スルニ相當ノ規定ニシテ不都合ノ廉無之ト被存候條御裁可アラセラレ度謹テ上奏ス

(別紙)

谷山村會ニ於テ村稅徵收督促手數料ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年十月十四日

內務大臣伯爵 松方 正 義 殿
鹿兒島縣山郡谷山村村長 伊 地 和 季 治

條例第二號

鹿兒島縣山郡谷山村稅督促手數料徵收條例

第一條 制第二百二條ニ依リ本村ノ諸收入金ヲ定期内ニ完納セス爲メニ村長ノ督促ヲ受ケタルモノハ左ノ手數料ヲ徵收スルモノトス

一 一回督促ヲ受ケタル者 金二錢

二 再督促ヲ受ケタル者 金四錢

理由
本村ハ區域廣闊ナルニ從ヒ一萬有餘ノ納稅者アリ加フルニ他郡市ヨリ納稅人モ亦尠ナカラス既往ノ村費徵收ノ實績ヲ顧ルニ從來ノ習慣ニヨリ納期ヲ等閑ニ付シ去ルモノアリ夫カ爲メ督促上費用ヲ要シ從テ經濟ニ困難ヲ來タスノミナラス不納者ノ爲メ他ノ納稅人ニ至ルマテ幾分ノ費用ヲ負ハシムル場合ニ立至リタル例シモ尠ナカラス依テ今後此弊害ヲ矯正シ經濟ノ鞏固ヲ計ラシカ爲メ督促ニ係ル費用ヲ不納者ニ負擔セシムル彼是其宜キヲ得ントス之レ此手數料徵收條例ヲ設置スル所以ナリ

指令二十二年十一月十五日

鹿兒島縣山郡谷山村條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

內務省上奏二十二年十一月十九日

鹿兒島縣鹿兒島市ニ於テ市長代理并有給吏員給料額ノ件ヲ議決シ之ニ關スル條例別紙第一號第二號ノ通許可ヲ稟請セリ依テ審査スルニ何レモ適當ノ規定ニシテ各條項不都合ノ廉無之ト被認候條御裁可被爲在度謹テ上奏ス

(別紙)

本市會ニ於テ市長代理ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年十月三十日

內務大臣伯爵 山 縣 有 朋 殿
鹿兒島縣鹿兒島市參事會 市長 上 村 行 徵

鹿兒島市條例第一號
第一條 市長故障アルトキハ市制第六十九條三項ニ依リ助役之ヲ代理ス市長助役共ニ故障アルトキハ名譽職參事會員中最モ年長者ヨリ順次其代理ヲナス

理由
一 市長代理條例ヲ規定スルハ市長病氣ニ罹ルカ又ハ私事ノ故障ナキヲ保シ難キヲ以テ其順序ヲ定ムル所以ナリ

本市會ニ於テ有給官吏ノ給料額ニ關スル條例ノ件別紙之通議決候ニ付許可ヲ請フ

鹿兒島縣鹿兒島市參事會 市長 上 村 行 徵

明治二十二年十月三十日

內務大臣伯爵 山縣有朋 殿

鹿兒島市條例第二號

第一條 市制第七十六條四項ニ依リ市吏ノ給料額ヲ定ムルコト左ノ如シ
一 市長給料ハ年俸五百圓以上八百圓以下トス
二 助役給料ハ年俸二百五十圓以上五百圓以下トス
三 収入役給料ハ年俸二百圓以上四百五十圓以下トス
四 書記給料ハ月俸六圓以上三十圓以下トス
五 附屬員給料ハ月俸三圓以上十圓以下トス

理由
一 市條例ヲ以テ市吏員給料額ノ範圍ヲ規定スルハ將來ノ標準ヲ定メント欲スル所以ナリ
指令二十二年十一月二十一日

鹿兒島縣鹿兒島市條例ノ上奏ノ通裁可セラレタリ

內務省上奏二十二年十一月二十一日

鹿兒島縣南大隅郡垂水村ニ於テ諸收入金督促手数料ノ件ヲ議決シ之ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ稟請セリ依テ審査スルニ右ハ相當ノ規定ニシテ不都合ノ廉無之ト被認候條御裁可被爲在度謹テ上奏ス

(別紙)
本村會ニ於テ徵收督促ニ關スル條例ノ件別紙ノ通裁決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年八月三十一日 鹿兒島南大隅郡垂水村村長 馬 純 清

內務大臣伯爵 山縣有朋 殿
大藏大臣伯爵 松方正義 殿

條例第一號

徵收督促條例
第一條 制第二百二條ニ依リ本村諸收入金ヲ定期内ニ納メス爲メニ督促ヲ要スルモノアルトキハ左ノ規程ニ依リ手数料ヲ徵收スルモノトス
一回督促ヲ受ケタル者ハ金三錢
二回督促ヲ受ケタル者ハ金五錢

理由
本條例ハ必ス無資力貧困者ニ適用スルノ本旨ニアラスシテ徵收期ノアル村長ノ令狀ヲ見テ往往債主ノ督促書ノ如キ感ヲナシ故サラニ緩慢ニ付シ去リ行政上ノ煩擾ヲナスモノアリ即此等ニ適用スルノ精神ニ外ナラス
指令二十二年十一月十二日

鹿兒島縣南大隅郡垂水村條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

鹿兒島縣南大隅郡垂水村村長

內務省上奏二十二年十一月二十一日
鹿兒島縣南大隅郡下既村ニ於テ徵收督促手数料ノ件ヲ議決シ之ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ稟請セリ依テ審査スルニ適當ノ規定ニシテ不都合ノ廉無之ト被認候條御裁可被爲在度謹テ上奏ス

(別紙)
本村會ニ於テ徵收督促ニ關スル條例ノ件別紙ノ通裁決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年十月十九日 鹿兒島縣南大隅郡下既村村長 橋口 武 志

內務大臣伯爵 松方正義 殿

條例第二號

徵收督促條例
第一條 制第二百二條ニ依リ本村ノ諸收入金ヲ定期内ニ納メス爲メニ村長ノ督促ヲ要スルモノアルトキハ左ノ規定ニ依リ手数料ヲ徵收スルモノトス
一 納期後十日以内ニ一回督促シ其後五日ヲ過キ尚ホ納稅セサルトキハ再督促ヲナスモノトス
二 再督促ヲ受ケ尚納稅セサルモノアルトキハ租稅息納處分ニ依リ徵收スヘシ
二條 前條ノ督促ヲ受ケタルモノハ左ノ手数料ヲ納ムヘシ
一回督促ヲ受ケタルモノハ金四錢
二回督促ヲ受ケタルモノハ金六錢

理由
一 一回督促ヲ受ケタルモノハ前項手数料ノ外更ニ金六錢
二 再督促ヲ受ケタルモノハ前條手数料ノ外一里毎ニ金六錢ノ増手数料ヲ納ムヘシ

第三條 役場ヨリ一里以外ノ地ニ在リ督促ヲ受ケタルモノハ前條手数料ノ外一里毎ニ金六錢ノ増手数料ヲ納ムヘシ

第四條 手数料ハ其督促ヲナストキ村長ノ令狀ヲ付シ之ヲ徵收スルモノトス

第五條 前第二條第三條ノ手数料ヲ再三督促ヲ受クルモ納メサルモノハ前第一條二項ニ依リ租稅息納處分ノ法ニ依ルモノトス

指令二十二年十一月二十二日
鹿兒島縣南大隅郡下既村條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

內務省上奏二十二年十一月三日

鹿兒島縣南諸縣郡志布志村ニ於テ常設委員設置ノ件ヲ議決シ之ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ稟請セリ依テ審査スルニ適當ノ規定ニシテ各條項不都合ノ廉無之ト被認候條御裁可被爲在度謹テ上奏ス

(別紙)
本村會ニ於テ常設委員條例別紙之通裁決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年十月二十九日 鹿兒島縣南諸縣郡志布志村村長 田 原 親 功

內務大臣伯爵 山縣有朋 殿

條例第一號

常設委員條例

第三條 區會議員ノ選舉人、被選人ハ、村ノ選舉人、被選舉人ニシテ、其區内現住者ニ限ルモノトス
 但選舉ノ等級ヲ設ケス
 第四條 前條ノ外ハ、凡テ町村會ノ例ヲ適用ス

本條例ヲ發行スル理由ハ、上出水村ハ四區ノ大字ヲ合併シテ一ノ自治團體ヲ構成シタル村域ナリ、然ルニ其各區毎ニ特別ノ財産及營造物アリ之ヲ全村ノ議會ニ委任スルコトヲ欲セス、故ニ各區ニ議會ヲ起シ、度區民ノ情願ニ依ル尤モ議員ノ定員、武本區ハ人口五千以上一萬未満ナルニ付十八人、上鱒淵區ハ大川内下大川内區ハ人口各五千未満ナルニ付十二人、上知識區ハ人口千五百未満ナルヲ以テ八人トシテ、町村會議員ノ割合ニ準スルモノナリ

指令二十三年三月七日
 鹿兒島縣出水郡上出水村條例ノ件上奏ノ件、裁可セラル

內務省上奏二十三年三月十五日

鹿兒島縣出水郡上出水村ニ於テ土木并衛生委員設置ノ件ヲ議決シ之ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ稟請セリ、仍テ審査スルニ適當ノ規定ニシテ不都合ノ虞無之ト被存候條御裁可被爲在度謹テ上奏ス

(別紙)

本村會ニ於テ土木衛生委員ニ關スル條例之件別紙之通議決候ニ付許可ヲ請フ
 明治二十二年十一月七日

鹿兒島縣出水郡上出水村長 補 元 節
 內務大臣伯爵 山 縣 有 朋 殿
 追伸 上出水村惣人口一萬千六百四十三人

條例第一號

第二條 本村ニ常設委員ヲ置ク
 第一號 委員組織及任期

第二條 常設委員ノ定員ハ四名トシ、村會議員中ヨリ半數他ノ公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ半數ヲ選舉ス

第三條 委員ノ任期ハ四年トス
 但議員ヨリ行ハレタルモノ議員ヲ辭シ又ハ退職スルトキハ委員タルノ資格ヲ失フモノトス

第四條 土木衛生委員ハ村内ノ土木衛生ニ係ル行政事務ヲ分掌シ各其事業施行ノ任ヲ分擔スルモノトス

第五條 常設委員ノ職務權限概目左ノ如シ
 一村會議決ノ旨趣ニヨリ土木工事及衛生ノ事ヲ施行スルコト

二臨時非常ノ洪水等ニテ堤防其危險ノ箇所及傳染病流行ノ際現場ニ出張保護ヲナスコト

理由本村ハ制第六十五條ニ依リ常設委員ヲ置キ土木衛生ノ事務ヲ分掌セシム之ヲ村會議員中ヨリ半數他ノ公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ半數トスルハ人民ヲ自治ノ制ニ習熟セシメ且實務ノ經驗ヲ積ミ能ク施政ノ難易ヲ了知セシメ大ニ便宜トナス所以ナリ
 指令二十三年三月二十六日

鹿兒島縣出水郡上出水村條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

內務省上奏二十三年三月十九日

鹿兒島縣出水郡東加世田村ニ於テ督促手數料徵收ノ件ヲ議決シ之ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ稟請セリ、仍テ審査スルニ適當ノ規定ニシテ不都合ノ虞無之ト被存候條御裁可被爲在度謹テ上奏ス

(別紙)
 本村會ニ於テ諸收入金督促手數料徵收ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ
 明治二十三年二月六日

鹿兒島縣出水郡東加世田村村長 勝 田 爲 成
 內務大臣伯爵 山 縣 有 朋 殿
 大藏大臣伯爵 松 方 正 義 殿

追テ明治二十二年十二月三十一日日本村現在人員一萬千六百五十二人ニ有之候此段副申ス

第一條 町村制第百二條ニ依リ本村ニ於テ徵收スル諸收入金ヲ定期内ニ納メス村長ノ督促ヲ要スルモノアルトキハ村長ハ左ノ規定ニヨリ手數料ヲ徵收スルモノトス

一 一回督促ヲ受ケタルモノハ金四錢
 二 再督促ヲ受ケタルモノハ金二錢
 三 再督促ヲ受ケタルモノハ金四錢

第二條 手數料ハ其督促ヲ爲ストキ村長ノ令狀ヲ付スルモノトス

理由書
 本條例ヲ設ケル所以ハ本村ニ於テハ村費負擔ノ義務ヲ重セサルカ爲メ諸收入金ノ納期ニ際スルモ納稅ヲ怠ルモノ多クシテ之レカ督促ヲ爲スコト數回ニ及フモ恬トシテ其義務ヲ盡サハルノ習慣ヲ成セリ

依テ村役場ノ事務煩煩ヲ來スノミナラス夥多ノ費用ヲ要シ村費ノ負擔額ヲ増加スルニ依リ本條例ヲ設ケ以テ一ハ村費負擔額ノ減少ヲ計ルト納稅義務怠慢ノ弊習ヲ除カントスルニアリ

指令二十三年三月二十六日
 鹿兒島縣出水郡東加世田村條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

內務省上奏二十三年四月二十九日

鹿兒島縣出水郡北種子村ニ於テ區會ヲ設ケントシ之ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ稟請セリ、仍テ審査スルニ適當ノ規定ト被存候條御裁可アラセラル度謹テ上奏ス

(別紙)
 本會ハ熊毛郡北種子村區會ニ關スル條例同村會ノ意見ヲ聞キ別紙之通制定施行致度候ニ付許可ヲ請フ
 明治二十三年二月二十二日

手數料ヲ徵收スルモノトス
 一 一回督促ヲ受ケタルモノハ金二錢
 一 再督促ヲ受ケタルモノハ金三錢
 第二條 手數料ハ其ノ督促ヲナストキ村長ノ令狀ヲ交附スルモノトス
 理由書
 徵收督促條例ヲ設ケ手數料ヲ徵收スル所以ノモノハ村吏員ノ職務上ニ於テ一個人ノ爲特ニ手數料ヲ要スルカ故ニ收入シ村稅ノ幾分ヲ補助スルニアリ
 指令二十三年七月四日
 鹿兒島縣東端郡末吉村條例ノ件上奏ノ件裁可セララル
 內務省上奏二十三年七月七日
 鹿兒島縣日置郡東市來村ニ於テ區會ヲ設ケントシ之ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ稟請セリ依テ審査スルニ差支ノ廢無之ト被存候條御裁可被爲在度謹テ上奏ス
 (別紙)
 從來日置郡東市來村湯田ニ於テ所有スル財產ニ關スル條例ノ件村會ノ意見ヲ問ヒシニ區會開設ノ必要ナキ旨別紙ノ通答申セシモ一部ノ權利ヲ傷害スルノ恐レアルヲ以テ本條例ノ許可ヲ請フ
 明治二十三年五月十日
 內務大臣伯爵 山 縣 有 朋 殿
 鹿兒島縣日置郡東市來村條例
 區會條例
 第一條 東市來村ノ一部湯田ニ於テ所有スル財產ニ關スル事務ノ爲メニ區會ヲ設ク
 第二條 區會議員ノ定員ハ十二人トス
 第三條 區會議員ノ選舉人ハ公民中選舉被選舉權ヲ有シ湯田ニ現任スル者ニ限ル
 但選舉ノ等級ヲ設ケス
 第四條 前各條ノ外ハ凡テ村會ノ例ヲ適用ス
 區會條例ノ理由書
 日置郡東市來村ノ一部湯田ニ於ケル自治區造成ノ時ニ方リ合併セシカ特別ニ所有スル財產アリ然ルニ町村制實施開始ノ際ニ於テハ一時右財產ヨリ生スル利子ノ支出ノミヲ全村會ニ委任セシモ右財產ハ爾後區會ニ於テ處理セント欲スル區内人民ノ情願アルニ依ル但區内人口ハ二千五百三十八人ナリ
 區會條例發行ノ理由書
 日置郡東市來村ノ一部湯田ハ自治區造成ノ始メニ方リ他ノ四村ト合併シテ一村トナセシモ財產ニ至ツテハ尙從來ノ如キ之ヲ一部ニ所有セリ然ルニ該財產ニ就テハ自治制實施ノ始メニ於テ一時其ノ利子収支ニ係ルモノミヲ村會ニ委任シタルモノニシテ財產全體ノコトヲ委任セス其ノ委任セサル所以ノモノハ一部人民ノ意見ニ反セル不利益ノ議決ヲナシ若ハ多數ノ爲メニ壓抑ヲ蒙ルルヲ虞レアルヲ恐ルルニ依ルモノナルノミナラス其ノ所有權アル一部湯田ニ於テハ町村制ノ許ス所ニ從ヒ區會ヲ開設シテ直接ニ

之ヲ處理センコトヲ希望シ區會ノ開設ヲ情願セリ於之區會開設ノ意見ヲ村會ニ問ヒシニ該會ハ別紙答申書ノ如キ理由ヲ以テ之レカ開設ヲ否決セリ故ニ其一部ナル湯田ニ於テハ村會ト利害相抵觸シ一部ノ權利ヲ傷害セラレタルヲ以テ特ニ村會ノ委任ヲ解除セントスルノ傾向アリ若シ之ヲ解除スルトキハ到底他ニ處理スヘキ道ナキノミナラス村會ノ議決正當ノ理由ト認メ難シ依テ村會ノ意見ニ反シ區内ノ情願ヲ採納シテ茲ニ區會條例ヲ發行セントスル所以ナリ
 但區内人口ハ二千五百三十八人ナリ
 (別紙)
 本村湯田區會開設御諮問ニ對シ評議候處部内湯田ノ如キハ區會開設ノ必要ハ毫モ之ナク加之若シ之ヲ設クルニ於テハ大レカ爲メニ村内行政事務上煩雜ヲ來シ且區内相應ノ費用ヲ要スルコト必然ナリ仍テ本會ハ之ヲ設クルノ必要ナキモノト議決セリ此旨答申候也
 日置郡東市來村會議長 永 山 光 二
 明治二十三年四月十五日
 日置郡長 柴 岡 晋 殿
 指令二十三年七月一日
 鹿兒島縣日置郡東市來村條例ノ件上奏ノ通裁可セララル
 內務省上奏二十三年七月二十八日
 鹿兒島縣東端郡末吉村ニ於テ常設委員ヲ設ケントシ之ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ稟請セリ仍テ審査スルニ相當ノ規定ト被存候條御裁可被爲在度謹テ上奏ス
 (別紙)
 本村會ニ於テ常設委員設置條例別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ
 鹿兒島縣東端郡末吉村 村長 吉 井 源 吾
 明治二十三年四月二十八日
 內務大臣伯爵 山 縣 有 朋 殿
 追申
 人口一萬四百九十二名 明治二十三年四月現在
 常設委員條例
 第一款 組織并任期
 第一條 本村ハ制第六十五條ニヨリ土木及勸業ノ爲メ常設委員ヲ置ク
 第二款 常設委員ノ定員ヲ三名トシ村會議員中ヨリ二名他ノ公民中選舉權ヲ有スルモノヨリ一名ヲ選舉ス
 第三款 委員ノ任期ハ二箇年トス議員ヨリ選ハレタルモノニシテ議員ヲ退職スルトキハ委員タルノ資格ヲ失フモノトス
 第四條 常設委員ハ本村内土木及勸業ニ係ル行政事業ヲ分擔スルモノトス

第五條 常設委員ノ職務權限概目左ノ如シ
 一 村長ノ指揮ニヨリ勸業土木事業ヲ施行スル事
 二 翌年度ニ於テ施行スヘキ箇所費額等ヲ取調ヘ議案ヲ編製スル事
 三 臨時急施ヲ要シ會議ヲ開ク場合同上ノ事

理由書
 常設委員ヲ設ケルトキハ村内人民ヲシテ自治ノ制ニ習熟セシメ自治ノ効用ヲ舉グル事ヲ得ヘシ將タ村
 内ノ行政ニ參與シ之ニ依テ自ラ實務ノ經驗ヲ積ミ能ク施政ノ難易ヲ了知セシムルノ便アルト共ニ間接
 ニハ代議機關ト行政機關トノ圓滑ヲ計ルノ益アルヲ以テ本條例ヲ設ケル所以ナリ
 指令二十三年七月三十日

鹿兒島縣東噶喇郡末吉村條例ノ件上奏ノ通裁可セラル
 內務省上奏二十三年十月二十五日

鹿兒島縣鹿兒島市ニ於テ區會ヲ設ケント欲シ之レカ條例ヲ規定シ別紙ノ通許可ヲ稟請セリ之ヲ審査ス
 ルニ相當ノ規定ト思考ス仍テ御裁可アラセラレ度別紙寫相添謹テ上奏ス
 (別紙)

本縣鹿兒島市内區會開設ニ關スル條例ノ件市會ノ意見ヲ聞キ別紙ノ通相定候ニ付許可ヲ請フ
 明治二十三年十月八日 鹿兒島縣知事山内堤雲代理

內務大臣伯爵 西 鄉 從 道 殿 肝 付 兼 弘

區會條例
 第一條 鹿兒島市内小川町濱町和泉屋町惠美須町榮町柳町向江町車町ノ八町ヲ一區トシ該區ニ於テ所
 有スル財產ニ關スル事務ノタメニ區會ヲ設ケ

第二條 區會議員ノ定員ハ十八人トス
 第三條 區會議員ノ選舉人被選舉人ハ市ノ選舉人被選舉人ニシテ其區内現住者ニ限ルモノトス但選舉
 ノ等級ヲ設ケス

第四條 前條ノ外ハ凡テ市會ノ例ヲ適用ス

理由
 本條例ヲ發行スルハ本區域内ニ於テ所有スル財產アルヲ以テ開設ヲ要スル旨區民ノ情願アルコト依ル尤
 モ議員ノ定員ヲ十八人トシタルハ本區内ノ人口一萬未滿ナルヲ以テ町村議員ノ割合ニ準スルモノナリ

鹿兒島縣鹿兒島市條例ノ件上奏ノ通裁可セラル
 內務省上奏二十三年十一月十一日

鹿兒島縣鹿兒島市ニ於テ督促手数料ニ關スル條例ノ件別紙寫ノ通許可ヲ稟請セリ依テ審査スルニ相當
 ノ規定ト被存候間御裁可アラセラレ度謹テ上奏ス
 (別紙)

本市會ニ於テ市稅其他市ノ收入督促令狀手数料ニ關スル條例ノ件別紙ノ通り議決候ニ付許可ヲ請フ
 明治二十三年十月二日 內務大臣伯爵 西 鄉 從 道 殿 鹿兒島縣鹿兒島市長 上 村 行 徵

第一條 市稅其他市ノ收入ヲ定期内ニ納メサルトキ市制第百二條ニ依リ市參事會ヨリ督促令狀ヲ發ス
 ルトキハ手数料トシテ一通ニ付金二錢ヲ徵收スヘシ

但初回督促ニハ手数料ヲ徵收セス再回督促ヨリ徵收スルモノトス

理由
 市稅其他ノ收入督促條例ヲ規定スルハ徵收ノ整理ヲ要スル所以ナリ

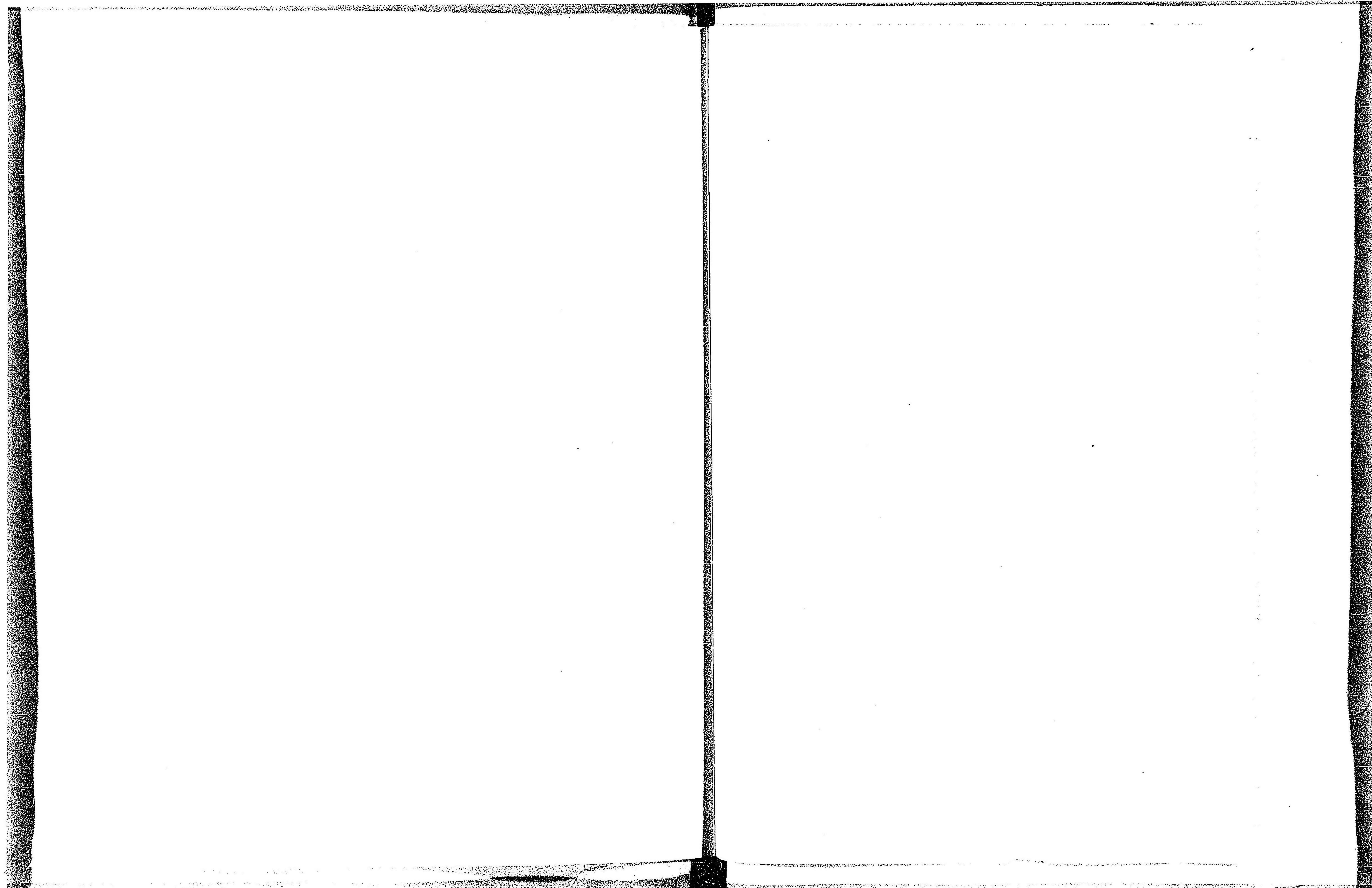
指令二十三年十一月十八日

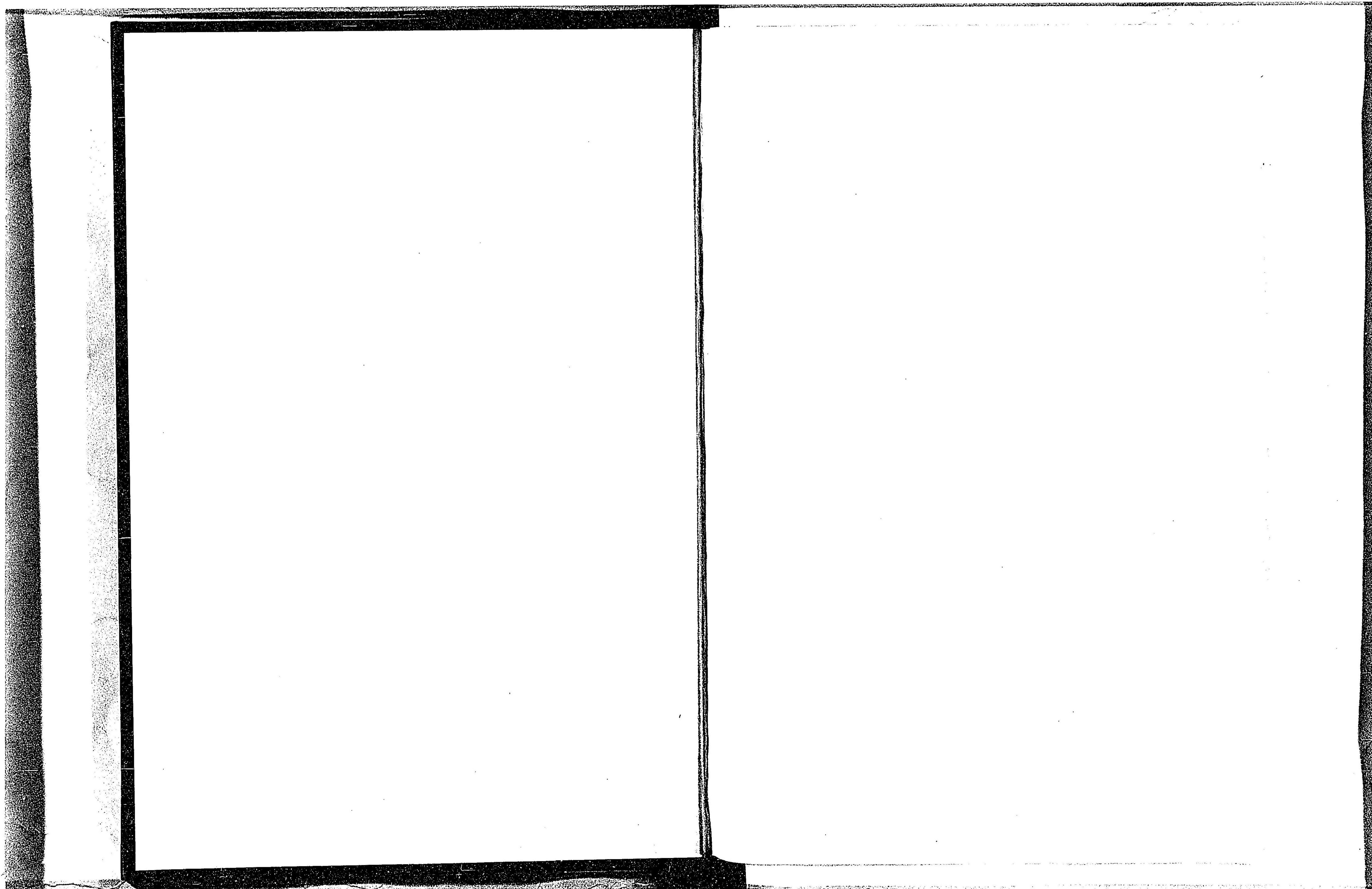
鹿兒島縣鹿兒島市條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

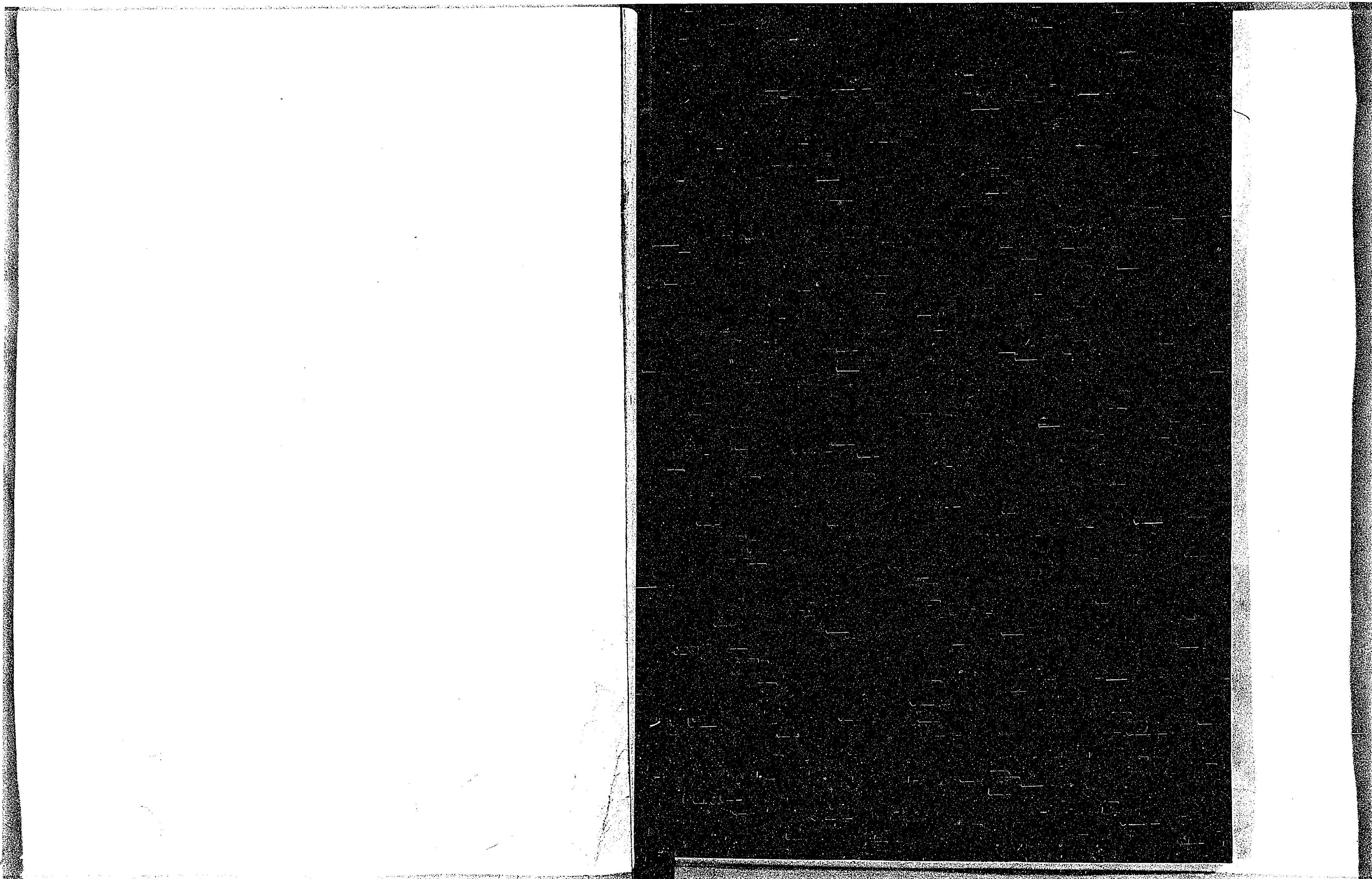
8F25

中華民國二十三年五月

內閣圖書







4.7
6

031115-001-5

CZ-3-12

法規分類大全 第2編

内閣記録局

M25-27

BBC-0910



